平成２５年度第２回　名張市男女共同参画推進審議会

◇実施日時
平成 26 年 3 月 25 日（金）１４：００～１６：００

◇実施場所
名張市市民情報交流センター　会議室

◇出 席 者
審議会委員：７名（３名欠席）
市　事務局：４名（生活環境部長、人権・男女共同参画推進室長、副室長、室員）

1.開会のことば
人権・男女共同参画推進室長より開会のことば

2.委属状の交付
前任者退任に伴い、平成２５年度１２月より就任

3.あいさつ
生活環境部長よりあいさつ

４.議事

【事務局説明に対する意見】
（●：会長の発言　◎：副会長の発言　○：委員の発言　△：事務局の発言）

●それでは議事が 4 件あるということで時間配分を失敗しないようにいたします。まずは、事務局からの説明をお願いいたします。

（１）平成 25 年度男女共同参画事業実施について
（事務局説明）
（２）平成 26 年度男女共同参画事業実施計画について
（事務局説明）
●ありがとうございました。それでは今の事について何か質問、ご意見がありましたらよろしくお願いします。
○資料 1 の 25 年度事業一覧を見せてもらって、参加者数が記載されていましたが、6 番の

6 月 1 日から 30 日のパネル展示についてはありませんでしたので、大体何人くらい参加したのかわかれば教えてください。加えて、それぞれの参加者数は、見込んでおられたところから、どの程度の達成があったのかということをお願いします。
△6 月 1 日から 30 日までのパネル展示ですが、市役所ロビー、男女共同参画センター、やなせ宿の 3 箇所で展示いたしました。市役所ロビーでのパネル展示に関しましては、市役所への来場者数を数えていないので把握は難しいです。センターにつきましては、来館者数は把握出来ますけども、今のところは数えておりません。やなせ宿につきましても場所が離れております関係上、人数の把握は難しく、来てくださった方にメッセージを書いていただけるような取り付け簿は置いてあったのですが、3 名ほど書いていただいているだけでした。全員の方が記入していただいている訳ではございませんので、人数の把握はしておりません。
〇他の事業に関して、例えば 1 番のきらめきの会が行った事業でしたら参加者数 35 人、それからフォーラムで 180 人、この数の達成度はいかがですか？
△フォーラムにつきましては、定員が 200 人を予定しておりましたうちの、180 人ですので概ね達成しております。
●それに関連してなのですが、男女共同参画週間のイベントなんかは 1 ヶ月有効につかってやっていらっしゃるので、さすがということもありますけども、〇〇さんが仰っていた市役所ロビーの展示などについては、旗とかのぼりを立てるということはやっていないのですか？
△やなせ宿ではのぼりを立てましたが、市役所のロビーでは動線の関係上禁止されておりまして立てておりません。
●のぼり、意外と良いのですが難しいのですか。パンフレットを置くよりは目立つので、出来れば立てたほうが啓発効果が期待できると思うのですが・・・。男女共同参画センターにも立てられませんか？
△毎月 22 日の「男女共同参画について考える日」には、通りに面しました、今はカフェの看板が出ているところに、「男女共同参画を考える日」というのぼりを立てています。
●のぼりを活用することは、有効だと思うので出来れば使っていただきたいと思います。
〇ティッシュの配布というのがありますね？ちょっと細かいことなのですが、25 年度は 2000 個配布したとありますが、費用はどれくらいなのですか。
△ティッシュ 1 つが約 13.5 円です。
〇案外安価で行えるのですね。2 点ほどお伺いしたいのですが、昨年度はパネル展示だとかパンフレットの配布だとかが、非常に盛んに行われているのですが、その成果や反響はどうでしたか。何かわかるものがあれば知りたいのですが。特に 11 番の企業啓発のところで事業所訪問「ワーク・ライフ・バランス」について、市内で 200 事業所と書いてあるのですけども、これはどんなかたちで訪問され、啓発をされたのか、そしてその結果はどうであったのかをお話いただくか、あるいはこの企業啓発についてまとめられた資料などは作

られていないのですか？
△この企業啓発につきましては、従業員が 10 人以上いる事業所が名張市内に 400 社程ございますが、その全ての会社へ、年に一度当室が実施している人権問題に関わっての研修会についての案内を、10 月から 11 月にかけて出せていただいています。その後、市の職員と、名張市にある同研組織（＝名張市人権同和教育推進協議）の企業部会に加盟をしていただいている、160 社あまりの企業の中の従業員とが二人一組になり、400 社あるうちの 200 社あまりを回り、再度、事前に書面でお知らせしていた研修会の案内をするとともに、人権問題に取り組んでいただけるよう、資料等をお渡ししています。その中に「ワーク・ライフ・バランス」についての資料も同封し、「従業員のみなさんへの働きかけをお願いします」といった風に、意識啓発をしながら企業を回らせていただいております。ただ、一社ずつ総務担当、人事担当の方に膝を詰めてお話し合いというところまではまだ、時間的な部分で出来ておりません。あと実際どのように、企業の中でお取り組みをされたかということの検証という部分ではまだ出来ていませんので、そこが今後の課題だと思います。どういったかたちで実施状況等吊り上げさせたらいいかということを含めて、効果測定の部分を商工関係と今後とも連携をはかっていかなければいけないと考えているところです。
〇そうすると、11 番は研修会をするからそれに来てくださいという勧誘に合わせて、資料をお渡しするということですね。そうするとその研修会は、この資料の中のどこかに 25 年度の実施事業として記載してあるのですか？
△男女共同参画も人権問題なのですが、この研修会はどちらかと言うと同和問題の方に、特化した研修会ですので、分類としましては同和問題の取り組みのほうになりますのでこちらの資料には載せておりません。研修会は武道交流館いきいきにおいて開催したのですが、企業関係の方、同研組織、市職員も参加して 100 人前後の参加がありました。
〇インターネットを見ていましたら、内閣府の方でカエルの星（内閣府が、ワーク・ライフ・バランスの推進に成果を挙げた取り組み事例を募集し、好事例は「カエルの星」として認定される）というのがありますが、こういうものは、企業がワーク・ライフ・バランスについてどのような取り組みをしているかを把握できるので、効果測定としていい方法だと思います。先ほど説明の中で、今年度、名張市から一社認証（男女がいきいきと働いている企業）されたとおっしゃってくれていたのですが、この認証制度はどこが実施しているのですか？
△三重県です。
〇三重県なのですね。全国的にもこういった認証企業の制度等がありますので、そこをうまく活用していけばよいのではないかと思います。今行っている啓発は、ティシュを配ったりパンフレットを配布したり、どちらかと言うと受動的な広報の様に思われます。川柳とかいろんなアイディア出していらっしゃるので、それはすばらしいと思いますが、もう少し能動的なかたちで広報していく時期なのではないかと思います。パネル展示やその他の啓発の効果をどのように検証していくかなどに、もう少し目を向けてもいいのではない

かと思います。
〇25 年度実施事業一覧の 2 番に DV 啓発事業、7 番に女性に対する暴力を無くす運動というのがあり、26 年度も同様に、市役所での DV 防止啓発に関してのパネル展示であるとか、街頭啓発を実施してくださるということなのですが、実際に DV の相談とかはかなりあるのですか？
△相談件数は当室で集計をし、県に報告をしています。ここにあるデータは 24 年度分ですが、名張市男女共同参画センターで行っている女性相談への相談件数、ふれあいにあります女性相談室への相談件数を合わせましたら、1312 件の相談がありました。そのうちの 389 件がＤＶの相談でした。割合で言いますと、全体の相談の 29.5%を占めています。
〇そんなに相談があるということは、この事業は絶対に必要な事業のうちの一つだと思います。しかし、パンフレットやティッシュの配布というのは、男女共同参画の啓発としてでなければ出来ないということではないのだから、そんなに何度もする必要はないのではないかと思います。それよりも、25 年度実施事業一覧の 1 番のところにある、「災害時におけるコミュニティ防災」についての講座のような、男女共同参画の視点を持ってしかできない講座を実施し、実際に参加してそこで体験をしたり、話し合いを持ったりすることによって、わかっていただける部分も多くあると思うので、そういった事業を年に一、二度は実施していただきたいです。
△毎回災害をテーマにという訳にはいかないのですが、年に一回フォーラムを実施させていただいていますので、先ほどおっしゃっていただいた実体験や話し合いの機会として活用していただけていると思います。
〇ちょっと一つ教えてください、参画つうしんというのは、何部くらい刷って、どういうところに配布されているのですか？
△大体一ヶ月に 300 部程度、主に 15 地区の公民館と、図書館などの行政関係機関、市役所に置かせていただいます。また、ホームページにもこの内容をデータで載せさせていただいています。
●そのつうしんは誰が作るのですか？
△男女共同参画センターの職員と市の男女共同参画担当者で一緒に企画しております。
●そうすると、たとえば先ほどおっしゃっていた「男女がいきいきと働いている企業」として、名張市から認証企業が出た場合は、すぐにつうしんに取り上げているのでしょうか？
△つうしんには載せておりませんが、フォーラムの際に認証を受けた企業として、ポスターを作製し、張り出しています。
●こういう女性史的な事を書くことも中々面白いですけども、すこし言い方が悪いかもしれませんが、女性誌などはいつでも載せることができるので、出来れば「名張市から認証企業が出ました」ということをタイムリーに、どういった点が認められて認証を受けたのか、などとともに掲載できればもっとよくなると思います。
●全体でいいますと、男性の料理教室というのは、ここで生まれて、皆で育ていこうとい

うことで今でも続けていらっしゃって、昨年度の参加者も 15 名と、中堅市としては十分多いと思いますので、辞めずに続けていってもらいたいです。それと、今、「川柳が面白い」ということで、自治体で川柳を募集するところが、かなり増えてきています。そうすると、こっちの市の作品とあっちの市の作品が一緒だったと言うことがあるのです。だからそこを注意して選定委員の方たちに審査してもらう必要があります。それから「小学生、中学生、高校生でも応募できます」とすると、さらに応募者が増えると思うので、できればそのようにしていただけたらと思います。
〇ちょっといいですか？それに関して、川柳の募集はどのような手段でされているのですか？
△広報でのお知らせと、市内の 15 地区の公民館へのお知らせ、市内で川柳をされているサークルがあるのですけども、そこへ向けてのお知らせ、それから市役所のホームページ、男女共同参画センターホームページでもお知らせさせてもらっています。
〇投稿は、インターネットであればコメント覧があったり、あるいは紙媒体でこちらに送っていただくという形なのでしょうか？というのは、ある大学で、携帯を使って、川柳を成功させているところがあるのです。携帯は今ではほとんどの人が中高生の頃から持っているということで、出す（投稿する）方の立場で考えると応募しやすいし便利だと思います。応募できる範囲の選別など難しいところもあるかもしれませんが、一案として出させていただきました。
●25 年度実施事業一覧の２、デート DV 防止啓発パンフレットの配布についてなのですが、これは卒業時に校門などで配っていらっしゃるのでしょうか？
△いいえ。学校にお届けをして、担任を通じて卒業生の方々にお配りするというかたちです。
●今日は教職関係の方がお見えになっているということで、お伺いしたいのですが、反応はどうでしょうか？
〇私は小学校に務めていますので、直接的に聞いてはいないのですけども、子どもはもらった書類は必ず見ますので、意識付けとしての効果はあると思います。
●今は卒業時に「デート DV ってこういうものだよ」ということを啓発してくれているわけですが、出来れば卒業時ではなく、家庭科や人権教育の一コマを取って、デート DV についてみんなで話し合うだとか、先生からそういった話をしてもらうなど、もう一歩踏み込んで考えていけるような、機会があればいいですね。特にみんなでデート DV について話し合う機会などはめったにないことだと思うので、ぜひ設けていただければと思います。デート DV のパンフレットを、中学校の副教材みたいなかたちで入れている自治体もありますので、名張市もそういった取り組みをしていけたらもっといい教育になるのではないかなと思います。
△男女共同参画センターの女性相談員が、高校で授業を行っていまして、2 年前にその授業の一コマをお借りし、名張市の「新しい公」委託事業で DV 啓発事業を委託しています、

女性と子どものヘルプライン・MIE という団体に、高校生に向けて授業をしていただいたことがあり、今年もそれをやりたいということで、同団体が企画、検討してくれています。
●高校ではどのような反応があるのかはわかりませんが、中学校でそういった授業をやったという例を聞き、反応はどうであったかを伺ったことがあるのですが、中には実際に自分の家庭で DV を目の当たりにしている子もいて、「DV はいけません」と言われると、「自分の父親も母親も、自分たちが駄目なんだ」とショックを受けたということがあるのです。他には、このような話は信頼を置いている先生から聞きたかったという反応もあったりするので、どのようなかたちで生徒と信頼関係を持ちながら、そういうこと(DV に関する啓発や授業)を行っていくか、ということはすごく難しいです。だから、そういった点を踏まえた上で、どのようなケアが出来るのか、あるいはどういう問題点があるのかを話し合いながら、効果的な方法で授業をやっていただきたいと思います。
〇性の教育に関しては、小学校で男の子と女の子の体の違いについて学び、お互いを大切にするという感情を培って、中学校あたりでこういう直接的な問題を、市の出前講座などでやっていただければいいのですが、男女共同参画についての出前講座については、まだそういった点は足りていないのかもしれませんね。
●大切なことなので、ややこしい問題があるから実行しないというのではなくて、課題がわかったのだから、それをどうしていくのかということを突き詰めて考えていかないといけないと思います。
◎今のことについてなのですが、昨日もある会議で、先ほど会長がおっしゃられた様に、こういった内容（DV についての内容）はすごくショックなことだと思うので、信頼のおける方から話しをしていただくのが良いという話が出ました。中でも一番良い方法なのは、教師に相談してからにしてもらうのがありがたい、ということでした。当団体には現役の教員の方もいらっしゃるのですが、昨日は欠席でしたので、話を聞くことができなかったのですが、〇〇さんも元教師、〇〇さんも子どもさんを教えていらっしゃいますので、そういった方の話を聞くと、やはり子どもの気持ちに沿ったかたちの授業で、かつ、相談も同時にしていただくといいのではないかということでした。やはり DV に関する授業等については「慎重に」というかたちになるのかと思います。
●この参画つうしんへの反応はどうですか？字が多いという意見はなかったですか？
△「これだけのことを伝えたい」という思いで、つい文字が多くなってしまうのですが・・・
●これは辞書をそのまま写したんでしょうか？
△ホームページを元に、難解な言葉については分かりやすい言葉に変え、そういったことを担当の方で検討しています。
●これ文章の量が半分でいいと思います。
△そのようにしたいと思います。
●それと、振り仮名がありませんのでなんと読めばいいのかわかりません。たとえばこの女性の偉人、「瓜生岩子（うりゅういわこ）」さん。小学生でも読めるように、振り仮名を

つけるなど、やさしさを込めていただかないといけないと思います。ホームページをまとめるのに精一杯という感じがもろに現れているので・・・。
◎それともう一つはフォントをもう少し読みやすいものを使った方がいいと思います
○社会的活動をした人達を紹介するコーナーとしてシリーズでやっていらっしゃるのですか？それとも時々メインの記事にしておられるのですか？
△取りあえずは女性のパイオニアということで、続く内は続けていこうと思っております。
◎そうするとネタはかなりありますね。
●これシリーズとして続けて行くのだったら、番号もいるしね。
△そうですね。
●これは校閲を部長にしていただきたいです。部長が読んで面白いという事なら OK だと思います。せっかくの月に一回ですから、もう少し知恵を出してください。
△市の広報は常に中学生が読んで、十分理解出来るようにということを念頭に置いて、記事を書いているのですけども、つうしんの方は確かにマニアックというか、細か過ぎる様な気もしますので、そのへん十分考えて推敲していきたいと思います。4 月号をお楽しみにしていただきたいと思います。
●もしシリーズでおやりになるのだったら、シリーズ 1、2、3、4 とやっておいて、認証企業に認定された折には、「女性史のシリーズは来月号にします」としておいて、そちらを特別にトップ記事にしていただくといいと思います。

●他にはございませんでしょうか？それでは次の議事に移ります。

（3）男女共同参画に関する市民意識調査について

（事務局説明）

●ありがとうございます。名張市では市民意識調査の対象年齢を 20 歳以上に決めたのですか？伊勢市は 16 歳以上でやっていらっしゃったということなのですが、それぞれの市で違うのでしょうか？16 歳以上に設定すると、回収率は 4 割ちょっとになるし、それをしなければ回収率が 5 割になるという感じだと思うのですが、回収率をとるか、もしくは若い人の意見を取るのか。もう決まっているのでしょうか？
△確定ではございませんが、県内の市町の実施状況によりますと、ほぼ 20 歳以上を対象にしておりますので、他市町との比較をしたいと考え、「20 歳以上を対象に」と思っております。
○こういった調査の対象年齢は成人以上にするのが一般的なので、伊勢市が 16 歳に設定しているのをみて、非常に驚きました。16 歳以上を対象に調査を実施したのですから、調査内に出てくる文言や、質問内容が違ってくると思いますので、このへんをどのように解決されたのかなと、非常に興味を持ちました。いただいた資料を見てみますと、やはり三重

県内の調査を実施しているほとんどの市町が、調査対象年齢は 20 歳以上ということで、たぶんそれが一番オーソドックスな線だと思うのですが、16 歳からを対象にするということは、すぐに大人になる世代に参画の意識を植え付けると言いますか、知っていただくという点で優れていると思います。実際大学生は男女共同参画についてほとんど知らないです。男女共同参画という言葉も一部「聞いたことがある」という人がいて、あと知らないですし、教えない。これは非常に大きな問題です。そんなことがあって、ちょっと市のほうでもですね、この辺のアセス（アセスメント：客観的に評価すること）をしていただいて、うまく使えば意識付けも同時にできるのではないかと思います。
◎調査人数のことなのですが、名張市は 1500 人を対象にしているということで、他市町の回収率を見てみますと大体 5 割ですよね？名張市も同様に回収率が 5 割だとして、750 人しかサンプルが返ってこないということになりますよね？6 万 7643 人を対象に 1500 人、これを導き出した根拠は何なのでしょう？果たしてそのサンプル数で十分なのかでしょうか？
○統計的には、大体これくらい取ったらいけますよ。
◎大丈夫なのですか？750 人といったら全体の約 1%ですよ？
○サンプル数が少ないと確かに許容差は大きくなりますが、極端に精度が落ちるということはないですね。
◎それだったら問題無いかなと思いますが・・・。
○むしろ僕この資料を見ていて男女の回収率に非常に差がありますよね？そこで、男性の意識を調査しようとするならば、無作為に 1 500 抽出するのだと思うのだけども、意識的に男性に向けてちょっと多く出してみたらどうかと思います。
◎1500 の半分しか回収率がないので、それで足りるのかなと疑問に感じたんですけども、大丈夫なんですね。
△今説明いただいたように、統計学上、サンプル数が多ければ多くなるほど信頼率が高くなるだけですので、これくらいサンプルがあればそんなに誤差等は出てきません。名張市でも毎年市民意識調査をしていて、そのサンプル数が 1000、それが 750、1500 になったからと言ったって、そんなに違いはないと思うので、この程度あれば充分ですね。
◎男性と女性とどれくらい差が出てくるかということが楽しみですね。
△それこそが実態であり、課題になってくるのだとは思います。
●このアンケート案の表紙には「男女 1000 人」とありますが？
△これはまったくの案ですので。あくまでも意識調査の取り組みの考え方としては、説明させていただいていたように、調査人数が 1500 人で 9 月から 10 月頃に取り組みをさせていただけたらということです。設問内容等については、今後も引き続き委員の皆様方にご審議していただき、ご意見をいただければと思います。
●そうしますと、前回は平成 15 年に同じ人数で実施されたということですか？
△そういうことです。

●10 年ぶりかな？
△10 年ほど経っていますかね。19 年の 3 月に今の基本計画が出来ていますので、計画の策定前に意識調査をして策定を、ということで実施しました。先ほど申し上げたように、三重県内のデータが 20 歳以上、それから国も 20 歳以上、名張市で 10 年前にやった調査でも 20 歳以上ということで、傾向として、名張市のデータがどうなのかを知るという意味で、今をもっては 20 歳以上で検討しております。
●10 年ぶりにやるということを伝えたら、市民の人は「そんなに貴重な調査なのか」ということで是非やってあげようということになると思うので、出来れば協力のお願いの時に、その旨を伝えてみるといいのではないかと思います。それともう一つは何歳からを対象にするかですよね。名張の未来を担うような人たちの意見を取れないというのは、すこしもったいないような気がするので、経年比較を厳密にしないといけないというわけではないと思うので、出来れば 16 歳以上にすれば、注目度もあがるでしょうし・・・、
◎そうすると設問内容がちょっと変わって来ますよね。
〇これは前回、私が会長の時に実施した、皇學館大學が作ったものと同じ設問内容なのでしょうか？
△まったく同じものではないですが、ベースにさせていただいています。
〇文言の検討というのが非常に重要だと思います。10 年ぶりの調査ということで、その間に世の中もかなり変化がありましたので、次回調査時に新しく仕切り直して、平成 26 年現在の名張市民の意識というかたちで調査しても何の弊害も無いように思えますが・・・
△先ほど申し上げましたとおり、県や各市町でも調査を実施していますので、他市町村、あるいは、伊賀地域と北勢地域、南勢地域と比べて、名張市の意識がどうであるか、どのような傾向があるかということを知りたいと思っております。
この企画に関わっていて、一番心配しているのは、設問の表現によって誘導的な質問になってしまうおそれがあることです。比較する場合に、ものすごく重要なポイントなところになってくると思うので、それも含めて、今後委員の皆さま方には、ご審議をいただけたらと思います。
◎確かにそうですよね。アンケートは設問次第で欲しい答えに誘導することも出来ますからね。それとひとつ聞きたいのですが、今回考えていらっしゃる意識調査の設問の中身は、前回 10 年前に取られたものとは全然違うのですか？それともほぼ似たりよったり？
△ベースにしています。
△もちろん先ほどから先生が仰っていただいているように、新たに浮き上がって来た課題に対しての考え方であるとか、その部分についても調査させていただきたいと思います。
◎あんまりたくさん質問を設けると協力していただけないですよね。
△そうですね。疲れてしまうような物は避けないといけませんね。また、財政状況がたいへん厳しい中ですので、分析等について専門機関の方への委託が出来ません。ですので、委員の皆さま方のご意見を拝聴しながら、事務局サイドで素集計というかたちでの傾向分

析にならざるを得ないと思います。
●予算はどれくらいあるのですか？
△一応現在、新年度予算で与えられたものが、調査票の印刷費用、これも内部印刷ですから、たいした額ではございません。そして、発送させていただく、郵送料、戻ってくるであろう、大体６～7 割の回収率を見込んだ郵送料、礼状を兼ねた督促状の郵送料くらいです。
◎それなら 1500 人でもいっぱいいっぱいなのですね。
△そうなんです。郵送料の分を 25 年度の男女参画の総事業費の中でやりくりするということになっていますので、他のところから削られて、苦しい状況の中で工夫していかないといけないという状態に、なっているところです。
●そうやってやりくりしていただいているということだから、委託はできず、担当者の手で素集計になるということですね。今ざっと見てみたのですけど大体答えやすい内容ですが、7P のあなたご自身のことについてとあるでしょう？ここの性別については、最近は答えたくないという人も多くて、選択肢③として答えないというのを入れるといいと思います。
〇性同一性障害ということで、元々あったと思うのですけどね、昔と比べると最近は特に認められているということもありますので、その意見に賛成します。
◎年齢もそうですね。書かない人結構多いでしょう？
〇そんなの必要ないでしょと思うのかしら。
△ちょっと教えていただきたいのですが「あなたは結婚していますか」という質問についてはどうでしょうか？
◎ここもきっと中には答えない人がいるでしょうね。無記入という人はいますよ。
〇この種のアンケートではわからないのですが、就職試験だとかそういうものでは人種、性別、未婚、既婚は絶対聞かないことですね。タブーです。
△この調査については、どうなのでしょうか。
〇データを取るためであったらいいのかもしれませんが・・・。どうなのでしょうか？
△「既婚」という選択肢にしてしまうと、どうしても「法的に結婚をしている（事実婚などを除く、婚姻届を提出し、法的にしている結婚）」ということになってしまうので既婚の後ろに括弧書きで「パートナーあり」などにした方がいいのでしょうか。
◎実はこの間、250 人くらいの方を対象にアンケート調査をさせていただき、分析をしたのですが、不思議なことに、250 人のうちの 7 名が一切個人情報を書いていただいていなかったのです。せっかくいただいたデータでしたので無記入という形で分類させていただいたのですが、世の中が変わって来たのだなと思いました。見た目は、男の人か女の人しか来場されていないのですが、〇〇さんがおっしゃるように、中には性同一性障害の方もおられるし、その方の考え方等についてのアンケートにはご解答いただけても、あえて自分の個人情報は言いたくないという方もいらっしゃるのだと思います。そういう方が 250 人の中に 7 人いるので、人数的には多いです。

〇クロス集計ができるのであれば、結婚しているとか、あるいは既婚であっても「1.配偶者あり」と「2.離婚・死別」の選択肢や、勤務状況等設問があってもいいと思いますが、クロス集計が難しいということであれば、あえて聞かなくてもいいように感じます。
〇クロス集計はとれないんですね？
△私たちだけで集計をしますので難しいと思います。
〇確かに専門家がいないと難しいですね。
◎専門のソフトも必要だと思いますし。
△単なる素集計になってしまうのではないかと思います。簡単なクロスといいますか、その属性の人にどういう傾向があるのかということは、分析できるかもしれませんが、統計学は最強の学問ということで、中々我々には・・・
〇しかし、私はせっかくこんなアンケートをするのですから、漠然としたものを知っても意味がないと思います。先ほどおっしゃったように男性、女性の選択肢以外に「答えない」という選択肢を設ける必要はないと思いますし、職業に関しても、どのような職業の人にこういう傾向があるかなど、ある程度細かい傾向がつかめないといけないのではないかと思います。もう一つ、お金が厳しいとのことでしたので、ボランティアで集計をしていただくということはできないのでしょうか？大丈夫なら、ボランティア行きますよ？
△ありがたいお話ですが、ちょっと無理なんです。
●クロス集計はどの程度出来ますか？出来ないのに、詳しい設問を設けてもしかたがないですよね。
◎専門のソフトがあれば出来ますが、もっていらっしゃらないのですよね？
△そうですね。先ほどから申し上げているような、属性による素集計のようなかたちでならできるのですが、クロス集計をするとなってくると、やはり私たちだけでは厳しいですね。エクセルなどでいろいろ検討はしてみますが・・・
●今この調査票の案を見ていたら、そんなに詳しく設問を設けなくても答えられる問いだと思います。そういう意味で言うと、クロス集計をしても驚くような傾向等は出てこないと思います。
◎「この設問は必要なの？」と思うものもあります。たとえば、「あなたの一番下のお子さんの年齢は」とか、「お宅の家族構成は？」とかね。これと男女共同参画の意識に関する設問の答えとを、どういうふうに照らし合わせるのかすごく難しいですよね。
●問Ｂの「あなたの年齢は？」という設問で大体、その方の子供がどれくらいの年齢なのかというのは大体わかるように思います。
△どういう目的でその設問を設けるのかということを、もう少しはっきりさせた上で、回答者の属性については、もう一度見当させていただきたいと思います。
〇それがいいと思います。
△資金が潤沢にある、あちこちの市町の例を見て、いいとこ取りをしているような部分も少なからずありますので、身の丈にあった調査票で、しっかりした数字が得られるものに

なるよう、もう一度検討させていただきたいと思います。
〇「国や県、他市町村と比較するためにこれくらいの調査をしなくては」ということが意識の中にあるから、この調査票が出来たのだと思うのですが、名張市の独自の見解で調査票を作ると、出てきた数字が国や県、他市町村の結果と当然変わってきますよね。それはかまわないと思います。男女共同参画の推進のためにどの様なデータが欲しいのかということを中心に考えて、調査票をつくってみても、また新しい現代の結果になるかもしれないですね。
△手段と目的が混同されないように気をつけて、もう一度見直してみたいと思います。
●それともう一つ 16 歳以下という案は却下ですか？
△それも含めて、もう一度考えたいと思います。
〇伊勢市のデータなどを参考に、一度見ていただいて、その上で名張市独自のアンケートをおつくりになってもいいと思いますので、考えてみてください。
△今の時点で名張市は 20 歳以上と考えていますし、基本的にアンケート調査する時は、20 歳が多いのです。しかし、18 歳以上を対象にアンケートを取ったりする場合もありますし、たとえば伊勢市は見 16 歳ですよね。どの年代まで下げるかというのも難しいので、やはり目的を持って、意識をして対象年齢等考えていきたいと思います。
〇おそらく 16 歳の今の子ども達は、昔とは違い、体等に関しては、完全に大人なんですね。だからそういう意味で DV の話なども含めて、すでに頭の中はある程度大人になってしまっているので、10 年前に比べると、意識が変わってしまっているのではないでしょうか。
◎〇〇さん、学校で男女共同参画に関わるようなアンケート調査をされているところはないですか?
〇うちはやっていませんし、やっているところもたぶんないのではないかと思います。今じわりじわりと、学校や教育委員会に男女共同参画の意識を高めていただいているという段階ですので。でも、もしあれば私も見てみたいですね。
◎もしあれば若い人の考えが良く分かるかなと思いましたので。
〇10 年くらい前にアンケート調査をした時は 20 歳以上対象にされたということで、その資料がありますよね。そこで、10 年後になって同じ年代でアンケート調査をしたら、10 年前と比べてどれくらい意識が変わって来たか、名張市としての見解が出るとは思います。
ただ子どもさんの発育が早くなったとか、そういうふうなことも含めましたら、今、このアンケート調査をする年齢を考えるというのは、すごく大事なことになってきます。今後、同じようなかたちでデータを追加されることによって、名張市の形態というのが、分かって行くので、今回の調査対象を 16 歳以上にしても 20 歳以上にしても結構ですけども、「今後、何年かにわたって同年代の傾向の移り変わりをとっていく」という気持ちで続けていっていただけたらと思います。そうでなければ、名張市としてアンケートとった意味がないと思いますので、その辺も含めて考えてください。
◎10 年前 30 代の人が今年は４０代で、そうするとどんなふうに意識が変わったかというの

が、分かる訳ですから。
△おそらく人口ピラミッドが、10 年前に比べて一段といびつなものになっているでしょうね。
●10 代の人も調査対象とすれば、学校現場での男女平等はどうなのか、あるいはその 5 番目の男女の人権について、ＤＶについてなど現代の生の声が出てくるから、中々良いと思います。20 歳以上の人に学校での男女平等がどうとか聞いても昔の話ですから・・・。
◎そうなってくると､10 代の人に送るアンケートと 20 代の人に送るアンケートを分けないといけなくなってきますよね。
●調査のご協力のお願い時に、市のそういった思いをしっかりと簡潔に書かないといけないですね。
△設問の中で、現在高校、大学等に在籍されている方については、この設問に答えてください、それ以外の方は飛ばしてくださいといった設問を混ぜてもいいかと思います。
◎調査票を一種類で済ますならそうですね。
○確かにそれも可能ですね。設問を選んで答えていただくということに関しては、集計は可能なのですか？
△はい、それは大丈夫です。できれば、伊勢市の調査票がどんなものかというのを、精査させていただきたいと思います。
○今ちょっと携帯電話で調べて見ていたら、久慈市で中学生、高校生向けに男女共同参画に関する意識調査をやったことがあるみたいです。もう少し調べてみたら出てくると思うのですが、もう一つに日光市の男女共同参画セミナー高校生編というのもありますので、調べてみたら他市町村の例があると思うので、それを見て 16 歳以上を対象にやるべきかどうかという判断してみてください。
◎また検討結果を教えてください。
△確かにいろんな取り組みがあって、テレビか何かで高校生が、寸劇を通してデート DV について勉強している、というような取り組みを聞いたことがあるのですけども、一方で会長がおっしゃったように、それを見て胸を痛める子達がいるのですよね。そのへんをどういうふうにケア出来ているか心配なのですが・・・良かれと思ってやることでも、かなり慎重に検証してやらないと大変だなと言うことを良く分からせていただきました。ありがとうございます。
●ではこの件については、まだ間に合うということで、検討していただくということですね。あと何かありましたか？意識調査以外のことでも結構です。
○私の単なる印象なのですが、最近テレビを見ていると、男性が女性を殴るとかというのはほとんどないけど、女性が男性をバチンと叩くというのは、結構見かけるような気がします。
◎ドラマとかですよね。
○おそらくドラマだと思います。私は、ドラマそのものを見るのではなくて、そのコマー

シャルみたいなのを見ているのだけども、あれはすごくインパクトがありますよね。我々がどうこう言ったかって、少なくなるものではないけども、あの風潮はもうちょっと何とかならないのかなと思います。
◎そのことについてちょっと聞きたいのですが、あのようなことは現実でも起こっているのでしょうか？女性相談で DV の相談があるように、男性相談でも DV の相談があるのでしょうか？
△女性からの暴力ということで、相談を受けるという案件はあります。
◎やはり、あるのですね。
△だからアンケートの項目にも書いてありますけども、男性が女性に対して「誰のおかげでご飯が食べられているとおもっているんだ！」という言葉があるのと同じように、「この甲斐性なし！」という言葉がありますよね。
●それに関係してなのですが、もし男性から DV に関しての相談があった時にどのようにしているのですか？
△メンタル相談もやっていただいている、男性相談員にじっくり傾聴していただいています。
●名張市には男性相談があるのですね。
△24 年度で 10 件と件数は少ないのですがございます。その中で今仰っていただいたようにＤＶ関係の相談が数件ありました。
●この頃、離婚して母親が親権を取った際に、父親が子どもに会わせてもらえないとか娘が面会するのを嫌がるということで相談される方が結構多いのです。そういうＤＶというよりもむしろ、子どもとの関係に悩んでいる男性が多いらしいですね。でも名張でそういうのに対応出来ているということでしたら、安心しました。それで先ほどの女性が男性を殴るというやつの話に戻るのですが、それは広告などで、「えっ!?」と思わせるやつでしょ？
〇そうですね。
●だからものすごく、印象としては悪いでしょ？
〇悪い方に強烈に残りますね。
●そのスポンサーの名前はどうですか？
〇スポンサーの名前は、私もしっかり見た訳ではなく、今夜 9 時からこういう番組がありますというところしかみていませんので。
●ドラマですよね。ドラマで「こんなのやってはダメですよ」と思ったのなら、局にどんどん言っていかないと変わっていきません。
◎そうですよね。なんか嫌ですよね。
●放送に関する苦情などを受け付けている組織やテレビ局に、是非電話をかけたり、議論していただかないと変わりませんので、お願いしたいと思います。
〇すみません、このつうしんのことで一つお伺いしたいのですが、これを置いてくださっている場所を、先ほど、公民館とかだと聞かせていただいたのですが、中々そこへ足を運

ばないものとっては、手にしにくいです。私たちにとって一番見やすいのは、市の広報の中にこういうものを入れていただくとか、または、費用的に大変でしょうけども、折込の中に入れていただくといいと思います。その方法が一番年齢に関わらず、いろんな方が見られる方法だと思うですけども、それは無理なのですか？
△折込に関しましては、費用的な面で厳しいです。市全体で取り組むイベントの案内などは、市の広報にも掲載はさせていただいているのですが、細々した情報につきましては、広報もスペースが限られていますので、載せていただきにくいということがあります。そんな中でホームページを活用してご覧いただくなど、そういったことで対応していただかざるを得ないということがございます。私どもも、かつてのように広報の中にたくさん挟み込んで、区長さん組長さんに配っていただけたらありがたいのですけども、中々今は、そういったシステムがございませんので、厳しいかと思います。
◎協力企業としてね、You とかはどうなのでしょうか？
△イベント等、情報発信をしたい時には、極力マスコミ各社に向けて資料提供をしております。FM なばりにも声をかけたり、市役所のロビーの方にモニターがございますので、こちらの男女共同参画センターの宣伝であるとか、そういったことも、行っております。0 予算でできることを精一杯努力させていただいているところです。市長の話ですと、最大の山場は越したということですけども、まだ安心出来ないような状況ですので・・・
◎例えば You さんとかはどうかな?と思ったのですけどね。タウン誌ですので、夫婦の日などに絡めて男女共同参画について啓発記事を無料で載せていただくのもありかなと思ったんです。ＹＯＵさんは企業ですから、それこそ男女共同参画を進めて行ってもらわないといけないところなので・・・。
△記事としては、今のような形で載せさせていただくことは可能だとは思いますが、つうしんのように、毎月載せていただくとなると、当然お金もかかってきますので、おっしゃってくださっていることは重々わかってはいるのですが、今をもっては中々難しいと思います。職員が公民館等へ持っていくという形で、今のところはご理解いただけましたらと思います。
●今○○さんが仰っていることは本当によくわかります。以前広報に育児休業取った男性についての記事が載ったでしょ？あれはすごく良かったと思います。せっかく男性が育児休業を取ったのだから、もっと広報に売り込まないとダメだと思います。広報の目玉にできるような事柄は、事務局がしっかりと見つけて、積極的に広報に情報提供していかなければならないと思います。
△年度末に次年度の掲載希望ということで、広報の方が次年度に掲載する記事の集約をします。そこで男女参画週間や人権週間など、「これだけ記事を使わせてください」と事前に申請している記事については、掲載スペースを充分に確保できるのですが、そのときそのときに見つけた、タイムリーな話題を載せていただくというのは、年度末に掲載記事を大体決めてしまっている以上、なかなか難しい状況です。

●そうすると、広報の方はそのようにやっていただいて、つうしんはつうしんで、市の男女共同参画に対する思いが、届けたい人にしっかり届くような、中身にするということですね。来月号からすぐにできますのでやってくださいね。
△はい、来月号から早速成果をお見せしたいと思います。
△また、先ほどおっしゃっていただいたように、シリーズでしたら番号を振るなどして、「次号も読みたいな」と思っていただけるようにすることで、つうしんを取りに来ていただけるようにしたいと思います。
◎たとえば前編と後編に分けて、一月に半分しか載せないとかね。
△つうしんの最後に「お読みになった感想をお聞かせください」という一文を入れたいと考えています。
○私は人権・男女共同参画推進室が「参画つうしん」というものを出していますということを皆さんに、知らしめるだけでも、啓発の効果があると思いますので、何か良い方法を考えてみてください。
△はい、ありがとうございます。
○一つだけよろしいですか？名張市の人口が、平成 15 年から 26 年に向かって、3700 人ほど減少しています。これはどのような理由からなのでしょうか？
△平成 12 年までは、関西都市圏の都市拡大を受けて、住宅地開発があり、多くの方が引っ越してきてくださり、名張市の人口が最も多い時期でした。しかし、全国的に人口減少時代が来ているということ、それからもう一つが都市部の中で、大きなマンションや利便性の高い土地の価格が安くなったりしましたので、今までのように自然を求めて名張に来られる方と、同じ価格であればやはり利便性のあるところに住もうということで、転入される方が大きく減少して来ていること、住宅開発がされた当時に入ってこられたご家族のお子さんが就職する際に、名張市は働き口が少ないので、職を求めて都会へ出て行ってしまい、帰ってこない。我々の時代は、名張へ住み、1 時間ほどかけて職場へ通勤していましたが、現代の方は名張からでは職場に遠いので、近くに住みたいということで居住地も都会にしてしまいます。そうすると、やはり次の世代に繋がっていかないという現状です。そういったことで現人口も減少してきていますし、現在、名張市は高齢化が極端に進んでいます。そして、今後ますます高齢化が進むことが予測されている状況です。というのは、急激に人口が増えた都市は急激に高齢化が進むという、人口急増都市の傾向でもあるからです。
△今後、税収が増えない上に、社会保障費の負担が増えていくという状況になっていますので、ますます知恵を使っていかないと、行政が回っていかない状況になってまいります。そういったことで、現在名張市は、子育て世代の方を呼び込もうという施策を中心に相当力を入れています。
○想像した通りの答えでした。今おっしゃったように、「名張市は子育てをするのに最適な場所ですよ」といったような市のモットーやキャッチフレーズを掲げることも、男女共同

参画に非常に関係してくると思います。
△そうですね。
●少子高齢化で大変ですけども、モットーなどを掲げることと同時に、女性の働きやすい環境を整えるなどして、市としてアピール出来るものを作って行くことは、かなり有力な男女共同参画の柱になるのではないかなと思います。
△今、名張市が大きく打ち出していますのは、「生み育てるにやさしいまち」ということです。例えば、保育園の待機児童については、年度当初は０を目指してやっているのですが、年度途中になってくると、やはり待機児童がでてくる状態です。お金のない中でも、子どもの医療の問題や待機児童対策を含めて、生み育てるにやさしいまちを達成できるような施策に重点的に取り組んでいる状況です。
○名張市には大学がないので、大阪、奈良、名古屋、あるいは東京などに出て行ってしまうんです。そうすると、その先で就職してしまい、名張市には帰ってきません。さらに、名張には就職したいというふうな大きな企業や、卒業生を受け入れられるようなキャパシティがある企業がないですから、余計子どもたちがいつかないのです。そうするとやはり高齢者ばかりになるし、人口も減っていきます。私自身も来年短大を卒業する女の子の親でして、なんとか名張で就職して欲しいと思うのですが、わが子ですら奈良へ行こうか、大阪に行こうかと考えておりますので・・・。困ったものです。
●どこでもそうですね。
○生み育てるのにやさしいまちではなくて、ずっと住みたい町にして欲しいですね。
△若い人に向けては、「生み育てるにやさしいまち」というアピールで、今現在住んでいる人に向けては、「ずっと住み続けたい」と思っていただけるような市を目指していきたいと思います。
◎そうなってきますと交通の便などが大切になってきますよね。
△そうですね。先ほど申し上げましたとおり、高齢化が進んでいますので、福祉とか医療の面も大切になってきますね。
○このままだと家族制度のような古き良き時代のものが崩壊してしまいますよね。健康なうちは高齢者だけが地元でがんばっているけども、もしもの時にはどうなるか、とここが一番難しいです。
●高齢社会を考える審議会みたいなものがあれば、男女共同参画と合同でやっていただいたらどうですかね。
○確かにリンクしていると思いますね。
△高齢者の皆さんも社会資本ですので、活用させていただける場面をどんどん作っていかないといけませんね。常に大事にする対象としての関係性だけでなくて、主力となって動いていただく部分もあっていいのだろうと思います。
●先ほども申し上げましたが、男女共同参画ということで、一度合同で若い人とかお年寄りとかが集まって話し合えるような場を設けてみたらどうですか？そこでまたネットワー

クも出来ますし。
〇今の話なのですが、私がこの審議会委員に応募した動機は、やはり男性と女性は違うなということを実際に自分がすごく感じることがあったことと、全体的な社会がこうなったらいいなというよりも、地域の一人の女性としてこんなんことではダメだと思ったことなのです。しかし、26 年度のこの事業に私自身が全部参加したのかというと、できていません。こんな言い方はいけないかも分かりませんが、「こんなことをして何になるの？」、「立場がちょっと違うかな？」という感じがするのです。もっと身近な話題をテーマにした事業を実施した方がいいのではないのでしょうか。来年度、実施予定のこのアンケートを取って、実際にどういう事業をしたらもっとも効果的に、良い社会を形成出来るのであろうかというようなことから考えて、その年の事業を立案されると思いますけれども、今年度実施された、パンフレットを配るとか、パネルを立てるだけでいいのだろうかと思うんです。先ほど〇〇さんがおっしゃったように、年齢の違う女性が集まって、女性として生きやすい世の中、地域にするにはどうしたらいいのだろうかという話し合いをするということだったら、ものすごく参加したいなと思います。「実際にこの事業が、地域の問題を解決するものなのか？」といつも思いながら、この審議会に参加させてもらっているのです。それで、昨年の災害時の男性と女性の協力や女性がどのように動いたら有効だろう、というような講座が開かれるということだったので、とてもいいなと思ったんです。それまでの事業は、何かもう一つピンとこなくて・・・。一体どういう地域社会を目指して行こうとしているのか、そのためにはどんな事業を計画していかないといけないのか、といったことを実際にこの審議会で考えて、良い案が出て来たらその事業を入れていただきたいと思うのですね。講師の話を聞いて「そうですか」と思うだけの講座ではなくて、もっと身近な話題を取り入れて欲しいと思います。
◎私もちょっと言わせてください。私は反対の意見なのですよ。パネルやパンフレットは必要です。啓発をするのに「自分は見なくていい」「立場がちがうから」とおっしゃいましたけども、例えばこのつうしんなんかもちらしと一緒です。皆さんに見ていただいて、「男女共同参画を推進するために市はこういうことを考えていますよ」「こういうことは大事ですよ」ということを、広く知っていただくためには、パンフレットとかチラシとかのぼりというのは必要なアイテムです。それがないと事業が出来ません。だから私は関係ないのではなくて、もっと違う目線で見ていただけたらいいなと思いました。
〇必要ないとは言っていないです。チラシやパンフレットももちろん大事だと思いますが、これだけではいけないのではないかと思います。
◎事業してみますと「これだけ」と思わないと思いますよ。
●今仰っていただいた、例えば女性の人権問題として、落としてはいけないもの、これは粛々と進めていただいて、一方でいろんな関係の問題を抱える地域の女性、あるいは男性が一同に集まって交流し合えるようなことを、企画出来るのは人権・男女共同参画推進室だけなのです。具体的な例を挙げますと、フォーラムの中で、災害についての講座で深め

られなかったことも入れながら、もう一度多くの人たちが参加出来るようなフォーラムを企画してみるということは、非常に大切なことで、やはりそこで人権・男女共同参画推進室の力量が問われるのではないのでしょうか。今のご意見は本当にいいと思います。ただ市民参画のいいお膳立てが出来るというのが、担当部局だと思いますので。
◎実は、今年はフォーラムの企画をネットワーク会議ですでにしております。ご期待してください。
●よろしいでしょうか？活発なご意見ありがとうござました。

5 閉会